

ROTOBO

Connecting Markets

ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2024年(令和6年)9月5日号 No.1967

目次

■「中央アジア＋日本」ビジネスフォーラムの開催	1
■エトセラ	9
情報提供セミナー「ロシアにおける知的財産権を巡る規制の動き」／9 カザフスタン・カーボンニュートラル分野協力推進ミッションのご案内／9	
■トピックス	9
JOGMECが中央アジアで協力強化／9	
米、ロシア関連の制裁を拡大／10	
ジェットロ・キーウ事務所開設／10	
日本政府がロシア産ダイヤモンドの輸入規制強化／11	

「中央アジア＋日本」ビジネスフォーラムの開催

はじめに

8月9日、「中央アジア＋日本」対話の一環行事として、カザフスタン共和国アスタナ市の独立宮殿においてビジネスフォーラムが開催された。主催は日本国経済産業省、(一社)ロシアNIS貿易会、カザフスタン外務省、国営カザフインベストの4者で、カザフスタン以外の中央アジア4カ国の関係省庁・機関が同フォーラムを後援した。当初、本フォーラムには岸田文雄内閣総理大臣と中央アジア5カ国の首脳が出席を予定していた。だが、8月8日に宮崎県日向灘で発生した地震の対応で岸田総理の訪問が中止となり、「中央アジア＋日本」首脳会合が延期となったため、残念ながら本フォーラムへの各国首脳の参加は実現しなかった。しかしながら、日本と中央アジア5カ国のビジネス関係者約450人(うち日本からは約40社・団体から約130人)の参加を得て、ビジネスフォーラム自体は決行された。本号では、その要旨を紹介する。

プレナリーセッション

冒頭で挨拶に立ったカザフスタンのベクトノフ首相は、中央アジアがダイナミックに発展している地域であり、日本との協力ポテンシャルも大きいと指摘した。同首相からは、特に中央アジアと日本の有望な協力分野として、①イノベーションクラスター等を利用した先端技術の移転と高付加価値製品の生産現地化、②中央アジア経由のトランジット輸送・物流の強化、③レアアースを含む未開発の有用鉱物資源の開発、④再生可能エネルギーの発展、⑤AI技術やバイオテクノロジーを含む農